

さんフェア福井2023

発掘せよ！！産業人の原石、未来の輝石



会報電子版では、10月28日(土)・29日(日)の二日間にわたり開催された「第33回全国産業教育フェア福井大会」を東京都から参加した都立高校の様子を写真を中心に報告します。

文部科学省事業発表会 (福井県生活学習館)



全国産業教育振興大会(福井県織協ビル)



作品展示(福井県産業会館)

全国の専門高校等の実習・課題研究等で製作した作品の展示・実演 展示作品数は97作品



東京都の農業系高校は写真のように合同展示です。島しょの高校や定時制の紹介もしています。展示物は代表校である農産高校が作っています。

農業系高校の活動紹介や、ジャムやお茶などの生産品の展示をしています。



全国の農業高校展示紹介



岡山県立水島工業高等学校(建築科：移動式組立茶室)

長野県松本工業高等学校(ドローンによる獣害対策)



北海道札幌工業高等学校(スマートビニールハウス)



ハウスのスマート化について
ICT・IoT・AIを
活用し、安価で簡単操作
できる、遠隔監視・制御
システムの実用化を目指
しています。
寒地無加温蔬菜栽培プロジェク
トについて
地熱利用(ヒートパイプ)
と土壌断熱

全国の水産高校展示紹介



全国の看護高等学校



東京都立新宿山吹高等学校(情報科)

生徒が引率の先生と一緒に参加していて、丁寧に説明してくれました。
生徒作品がたくさん展示されており、日頃の学習成果を見ることができました。



フラワーアレンジメントコンテスト(福井県中小企業産業大学校)

第22回全国高校生フラワーアレンジメントコンテストには、都立園芸高校園芸科3年 沼畑 和奏さんが出場し、未来へ向かう姿を表現しました。



輝石を越前水仙に例えて、そこから伸びる茎や花が未来へ向かっている姿を想像しました。

この作品はコロナ禍の制限がなくなり、たくさんのことに挑戦する自分の姿を映し出しています。

中央作品では、未来へ向かって伸びる未完成な自分(水仙)に、右作品のたくさんの愛情、友情、希望(S P マム、S P カーネーション、トルコキキョウ、バラ)が見守っている姿を表現しています。

左作品は窮屈な檻の中から楽しく踊るオンシジウムを筆頭に周りの花が未来へ歩みだしている姿を表現しました。



参加・交流イベント(福井県産業会館)



展示販売(福井県産業会館)



「ものづくりを通じた学科協働と地域連携」について、右のパネルに示してあります。

2024年の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けたお土産開発を「地域創造科」と「電子・電気科電子機械コース」が学科協働し、地元和菓子店との共同開発で製品化され、「玄白饅頭」が誕生しました。

ものづくりを通じた学科協働と地域連携

福井県立若狭東高等学校 電気・機械科 電子機械コース

【研究目的】

※2024年の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けたお土産開発として研究が始められ、地域創造科と協働し、出向している美術科「グラフィック」を地元和菓子店との共同開発により、「玄白饅頭」が製品化されることとなった。その製品に電子機械コースで製作した焼印を入れることにより学科間協働、地域連携につながり、小浜市の観光や歴史、大森の魅力を発信することができる。

電子・電気科 電子機械コース
データの作成、マシニングセンタでの製造と組み立ての研究

地域創造科
グラフィックの考案と焼印の加工、パッケージの制作

焼印のデザインの研究

焼印の形状や追加加工の研究

グラフィックの配色や商品化への開発

有明会社 井上景子
(井上 研 究 所)
玄白饅頭の商品化と販売

小浜市片岡観光委員会、福井県立若狭東高等学校、有明会社井上景子の三者が協力し「赤い羽根湯けつ賞」を受けて販売されています。

福井県立若狭東高等学校
明日の若狭を創るのは君たちだ!

